

らくのへ 議会だより

みんな、がんばって！

さわやかな秋晴れの日、町内3小学校合同による小学生陸上競技大会が開かれ、さまざまな競技でのがんばりに、応援席からも声援が飛び交っていました。(9月14日、町総合運動公園)

【第3回定例会】

平成28年度決算 町のお金98億円を認定 …… 2

【決算特別委員会】

昨年の事業をすみずみまでチェック …… 4

【一般質問】

学校設備、農業振興対策など2人が質問 …… 6

【常任委員会レポート】

町内施設を視察、まわし読み新聞を作ろう！ …… 10



平成29年10月に六戸町は町制施行60周年を迎えました

8億円を認定

音改築工事など一般会計は約60億円

公用車を新しく



公用車購入
軽トラック 115万円
町長車 668万円

(縦3枚、横5枚)



ベジタランドろくのへ
PR看板の設置
(道の駅ろくのへ内) 127万円

六戸町 PR

9月定例会が、9月1日から7日までの日程で開催されました。平成28年度の一般会計および各種特別会計の決算では、決算特別委員会を設置し、5日は一般会計、6日は特別会計を審議し、全員賛成で原案のとおり認

定しました。このほか、平成28年度健全化判断比率の報告をはじめ補正予算7件や、人事案件2件、財産の取得を含む8件を原案のとおり可決、同意しました。(詳細は4、5ページの下段をご覧ください)

た事業アップ

消防自動車の更新



小型動力ポンプ付積載車
(第5分団：折茂)1285万円

講堂の改築工事



七百中(講堂)防音事業改築工事
2億5326万円

町長から報告された財政健全化比率を紹介します

○ 実質公債費比率
27年度 11.5%
28年度 10.5%

早期健全化基準 25.0%

※ 数値が大きいくほど経費や借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

○ 将来負担比率
27年度 19.3%
28年度 -

早期健全化基準 350.0%

※ 数値が少ないほど将来の負担が少なくなります。(借金の支払いなどが減っていく)

※将来負担比率の「-」は、数値がマイナスであることを示します。

平成28年度会計別決算の状況

(金額：万円)

会計の種類	歳入(収入)	前年度との比較	歳出(支出)	前年度との比較	執行率(%)		
一般会計	60億2905	9973	58億3844	2億9370	96.7		
特別会計	国民健康保険事業	14億4813	△8171	14億2922	△9467	99.9	
	病院事業	収益的収支	2億2154	△2億7201	2億3149	△2億7992	77.0
		資本的収支	697	△607	697	△607	95.3
	下水道事業	2億8665	△1770	2億8665	△1770	99.9	
	農業集落排水事業	1億3336	99	1億3336	99	99.8	
	介護保険事業	14億1291	748	13億9796	△648	98.8	
	後期高齢者医療	1億758	407	1億666	411	99.2	
	霊園事業	903	△4	903	△4	100	
	国民健康保険診療所事業	2億2089	-	2億2089	-	95.8	
	特別会計の合計	38億4710	△3億6499	38億2228	△3億9978	-	

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません

※医療事業は平成28年10月1日から病院から診療所となったため、特別会計が2種類あります



昭和40年代の六戸町役場

町のお金9

台風による災害復旧や中学校講堂防

プール
改修工事



B & G海洋センター
プールサイドほか改修工事 893万円
B & G海洋センター塗装工事 392万円
※B & G財団から730万円の助成金が出ています。

台風被害
緊急支援



平成28年台風対応産地緊急支援事業
(次期作に必要な資材の共同購入)
1643万円

平成28年度
一般会計
決算書から

注目し ピック

ろくのへ
ブランド
推進

青森シャモロック ザ・プレミアム
#6 (ナンバーシックス)



ろくのへブランド
推進事業補助金

522万円

- ・ろくのへブランド推進事業
- ・六戸ブランド研究会コーディネイト事業
- ・プレミアムシャモロック生産支援事業
- ・六戸町特産品ブランド化事業

災害復旧



平成28年台風による災害復旧費
2968万円

使用料などの収納率の向

▼税や使用料の適切な徴収

平成28年度一般会計歳入歳出決算及び各特別会計は適正水準であった。特に、財政運営は町債(町の借金)の残高を減らし、将来に向けての基金(町の貯金)へ積み立てるといった、健全な運営であったと評価できる。ただし、次の点に注意したい。

上は見られたものの、滞納率がさらに上回っていた。
収入未済額(※)については、財源の確保や利用者負担の公平・公正から、より一層の債権管理強化に努めてほしい。
※収入未済額とは...
その年度の歳入として調査し決定した収入のうち、出納整理期間までに納入されなかった額のこと。この収入未済額は、翌年度も引き続き徴収を行うこととなります。

監査意見

財政運営や財産管理ともに適正



議場で監査意見を報告する吉田透代表監査委員

平成28年度一般会計、各特別会計の決算認定に伴う決算特別委員会（高坂茂委員長・委員11人）は、9月5日、6日に開かれ、町の税金がきちんと使われ

たのか、審議しました。委員から多くの質疑が出され、審査の結果、すべての会計を認定と決定しました。主な内容をお知らせします。

一般会計

歳入

ふるさと納税の寄附金

山本実 委員

歳入におけるふるさと納税の寄附金の件数は

円子企画財政課長

17件あり、203万円となっています。

財産貸付収入

下田敏美 委員

町の基金をどのように運用しているか

高橋会計管理者

平成27年度から立ち上げた公金管理検討委員会が効率的な運用を行っています。28年度では地方債を3億円購入。利息に関して、減債基金で390万円、土地開発基金で22万円が債券運用から出ています。

歳出

納税貯蓄組合奨励金

杉山茂夫 委員

納税貯蓄組合に奨励金として614万円あまり

の支払いがあるが、組合の使い道は

箱税務課長

組合独自でそれぞれの皆さんがやりやすい形で運営していると捉えています。組合単位での支出までの確認は現在には行っていません。

吉田町長

組合が税金の立て替えのようなことを行い、協力し合ってやっていた組合も過去にありました。納税し、みんなで支え合うという概念は今も持ちつつ組合を運営してくださっていると思います。

たのか、審議しました。

委員から多くの質疑が出され、

審査の結果、すべての会計を認定と決定しました。

主な内容をお知らせします。

川村重光 委員

吉田町長は、組合の立て

替えがあったと発言したが、現在はどうか

吉田町長

現在の組合の運営形態は把握していませんが、組合ごとにしつかりとやり方を定めた中で運営してくださっていると思います。

除雪業務

河野豊 委員

一昨年度が1億55万円だったものが、昨年度は2億637万円と倍になった。その理由は

吉田町長

除雪回数が多かったこともありますが、町としても基本的な部分は対応できるように、建設業者の方々に除雪用の車両やタイヤローダーなどを町で借り上げ、除雪を依頼したためです。

らへブランド推進事業

長根一男 委員

特産品のブランド化事業で、プレミアムシャモロックのほか新しい特産品開発の状況は。町の特産であるニンニク、長芋、ゴボウもブランド化すべきでは

高橋産業課長

六戸町産の青森シャモロックを使用したスープ（だし）などの商品化に向けた試作をしています。また、青森シャモロックは、町特産野菜と合わせてこそ強みが発揮できることから、「ベジタラ

9月議会決めたこと、あれこれ

補正予算

◆ 一般会計1億8475万円を増額

平成29年度一般会計補正予算では、1億8475万円を増額し、総額56億2769万円となりました。歳出の主なものは5ページの表のとおりです。

質疑

◆ 介護保険事業特別会計

高坂茂 議員

介護予防マネジメント事業とは

外山福祉課長

29年度から新規事業である介護予防生活支援事業で短時間の訪問サービスやミニデイサービスのケアプランの作成費用です。
・診療所事業特別会計
高坂茂 議員
医師補充の今後の進捗

吉田事務長

2年以上前から医師募集サイトに継続して募集し、さらに、県にも常勤医の情報提供を依頼しています。

人事案件

◆ 人権擁護委員

人権擁護委員に
苦米地 正良さん

（小平・柳町地区）再任を適任である旨の意見を添えて答申しました。

◆ 固定資産評価審査委員

次の方々を固定審査評価委員に同意しました。
田子 一彦さん
（折茂地区）再任
田中 雅子さん
（南町（二）地区）再任

財産取得

◆ 土地の取得

大曲小学校用地として土地を取得します。
所在地
犬落瀬字柳沢91番地89

・取得面積 6139㎡
・取得価格 1674万円

質疑

川村重光 議員

取得価格の基準となる根拠は

吉田教育課長

価格を決める前に、不動産鑑定を行いました。実際の地目は畑ですが、宅地並みとの鑑定を受けたため、その結果から価格を決めました。

ずみまでチェック

審議内容を取り上げます

次のページは 一般質問

9月定例会の4日目に一般質問が行われ、下田敏美議員、長根一男議員の2人が登壇しました。

一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容



しもだ としみ
下田 敏美 議員

6ページ

- ①学校トイレの洋式化の促進を
- ②8月の天候不順により農作物の被害を受けた農家の救済対策を問う



ながね かずお
長根 一男 議員

7ページ

- ①農業生産工程管理（GAP）の認証取得の取り組みについて問う
- ②結婚を支援するために役場内に部署を設置する考えは

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- ・質問項目は事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・質問形式は「一問一答方式」で行います
- ・同一項目について質問の制限はありません
- ・一人60分の制限時間があります

問 種市正孝 委員
要保護児童と進要保護児童の違いと補助内容は

要保護児童の就学援助

答 小林建設下水道課長
町道については、対応できるものは職員で合材を使い穴を埋める対応をし、大きいものは業者に発注して補修しています。県道については、現場確認し写真を撮り、県に通報しています。

問 下田敏美 委員

道路の維持補修

町内にある穴ほこ道路の管理と補修は

「ンドろくのへ」のブランドPR活動において、特産野菜の販売促進にも力を入れています。

問 川村重光 委員
Jアラート（全国瞬時警報システム）が鳴ったときの訓練は行っているのか。今後の対応は

Jアラートの対応

要保護は生活保護制度の教育扶助があり、町では修学旅行費、日本スポーツ振興センターの共済掛金を補助しています。準要保護も、要保護の内容に加え、学用品費、新入学用品費、学校給食費を補助しています。

問 吉田教育課長

要保護児童は、生活保護受給世帯の児童・生徒であり、準要保護は、生活保護世帯に準ずる程度の生活困窮世帯の児童・生徒です。

町の事業、すみ

決算特別委員会の

問 吉田町長
今回はミサイルの関係で鳴りましたが、避難所へ来てくださるという通常の災害のようなことしか言えないのが現状だと思います。

問 川村総務課長

ミサイルの避難訓練は時間的に厳しいという考えはあります。

問 杉山茂夫 委員

自主文化事業の公演

えはあります。今後は県とも相談して検討します。

問 吉田教育課長
劇団公演のチケット収入は町の収入に含まれず、直接劇団に入ります。マジックショーのチケット収入は114万円ありました。

自主文化事業の公演

自主文化事業で200万円（梅沢富美男劇団公演）と300万円（日本マジック界ビック3の競演）の決算額があるが、チケット収入の詳細は

自主文化事業の公演

自主文化事業で200万円（梅沢富美男劇団公演）と300万円（日本マジック界ビック3の競演）の決算額があるが、チケット収入の詳細は

自主文化事業で200万円（梅沢富美男劇団公演）と300万円（日本マジック界ビック3の競演）の決算額があるが、チケット収入の詳細は

平成29年度9月補正予算の主な内容

会計の種類	補正額	補正後の額	歳出の主なもの
一般会計	1億8475万円	56億2769万円	小松ヶ丘地区雨水等排水路設置工事 600万円 町制施行60周年記念プレミアム商品券発行支援事業 350万円 除雪業務 2200万円 大曲小学校用地整備工事 5000万円 館野公園トイレの建て替えと水洗化工事ほか 1885万円
特別会計			
国民健康保険事業	175万円	14億9434万円	
下水道事業	396万円	2億8783万円	
農業集落排水事業	50万円	1億5457万円	
介護保険事業	3948万円	15億854万円	介護予防ケアマネジメント事業 100万円
後期高齢者医療	△121万円	1億1064万円	
国民健康保険診療所	△474万円	4億7139万円	



しもだ とし み 議員
下田 敏美

学校施設の整備

児童生徒にトイレの洋式化を

町制施行60周年、拍車をかけて整備する — 町長

問 学校の避難場所としての役割もあり、多目的トイレも設置すべきでは

町長 学校は大規模災害時の避難場所としての役割もあり、多目的トイレも設置すべきではない。要望は以前からあった。洋式化には、一カ所あたりのスペースを広くとらなければならぬことにより、便器数が減少するなど課題があり、改修が進んでいない。

問 子どもから「和式は使いたくない」との声が出ているが、改修が進んでいない理由は

町長 洋式トイレの必要性が十分認識している。校舎新築や大規模改修時に随時、洋式化を進めてきている。

問 学校トイレの洋式改修の必要性がないか

町長 洋式トイレの必要性は十分認識している。校舎新築や大規模改修時に随時、洋式化を進めてきている。



子どもたちに快適な学校生活を

町長 学校等の構造的な問題があり、なかなか設置しにくい状況にある。今後可能なところには努力して対応する。

問 良い環境を与えて、健康を守ってやるためにも早急に洋式にすべきでは

町長 洋式トイレは、社会の実情に即して整備を図っていくのが必要と捉えている。

問 洋式化の高い神奈川県は58%、当町は31%と率が低い。60%以上にすべきでは

町長 60%を目指すことが理想だが、少なくとも半分を目指すぐらいの状況で対応している時代に入っていると捉えている。

町長 60周年という節目であり、この機会に、より拍車をかけて整備すると捉えてもいいと思う。

問 今年、822名の生徒にとつて最高のプレゼントになるが

町長 今年、「トイレの改修に取り組み」と生徒に宣言すれば、822名の生徒にとつて最高のプレゼントになるが

問 今年、822名の生徒にとつて最高のプレゼントになるが

町長 今年、「トイレの改修に取り組み」と生徒に宣言すれば、822名の生徒にとつて最高のプレゼントになるが

農業の振興

農家の救済対策は

関係機関と連携し敏速に対応 — 町長



被害を受けた農家の救済を

町長 不稔の発生が心配されていることから、県民局が各地で緊急調査を行っている。農協担当者や農家の方々からも、一部不稔、野菜の病害虫の発生や品質低下の声がある。

問 被害を受けた農家の救済対策を問う

町長 国や県から支援策が示されたら、関係機関と連携しながら、敏速な対応をもって対処したい。

問 町内の被害の程度はどうか

町長 不稔の発生が心配されていることから、県民局が各地で緊急調査を行っている。農協担当者や農家の方々からも、一部不稔、野菜の病害虫の発生や品質低下の声がある。



ながね かずお 議員
長根 一男

農業振興対策

ギャップ
農業生産工程「GAP」の認証取得を

関係機関とサポート体制を図る — 町長

問 農業生産工程（GAP※）認証取得対策について伺う

町長 六戸町においても、将来的にGAP認証取得に向けて農協・県など関係機関と協議・検討を進め、研修会の開催など、農業生産者が不利益を受けないように、サポート体制を作っていくたい。

問 GAP協議会を設置する考えは

町長 現時点では考えていない。農家の方々が集まり、GAP取得の経営を目指す考えがあるのであれば、町として対応していきたい。

問 今後、GAP取得のPR・研修会を行う考えは

産業課長

GAP取得のための勉強会開催並びに協議会設置に向けた対策としては、県・農協と連携しながら研修会の実施を検討していきたい。

また、営農講座を活用し、広く一般の農業者へGAPの内容を周知するとともに、取り組みの推進を図っていくたい。



町を挙げてJGAP取得に取り組むべきでは
(写真は産業民生常任委員会の現地視察(10月)の様子)

※GAPとは、「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。「適正農業規範」とも呼ばれる。日本独自の「JGAP」や、第三者が審査する世界基準の「グローバルGAP」などがある。

結婚・少子化対策

結婚支援窓口の新部署を

部署の設置は考えていない — 町長

問 役場内に、結婚支援窓口の部署を設置する考えは

町長 今のところ、結婚支援のための部署を設ける考えはない。今後の動向を見ながら、町としてどうあればいいのか、結婚支援の在り方を検討したい。

問 出合いの場の提供・経済的支援・情報提供が望まれているが

町長 県の出合いサポートセンターが大々に真剣に取り組んでやっている。それらの情報を正確に連絡しているつもりだが、今後、情報伝達がしつかりなされるように努める。

企画財政課長

あおもりサポートセンターは、婚活イベントや地域で行われている出合いの場の提供をしている。現在会員数は1681人で、そのうち六戸町の会員が11人。この機関の支援を受けて結婚した人が116人になっている。



あおもり出合いサポートセンターのホームページ

審議した議案と各議員の



・賛成が○、反対は×と表示しています。
 ・退は退席、欠は欠席を表示しています。
 ・円子徳通議長は裁決には加わりません。

議案番号	議案名	長根一男	種市正孝	杉山茂夫	久田伸一	高坂茂	下田敏美	川村重光	河野豊	母良田昭	山本実	苫米地繁雄	審査結果	議決日
報告④	28年度青森県新産業都市建設事業団の決算報告（金矢工業用地造成工事に関わるものを含む）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	報告	9月7日
報告⑤	28年度六戸町健全化判断比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
報告⑥	28年度六戸町資金不足比率の報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
報告⑦	28年度六戸町一般会計継続費精算報告書（七百中学校講堂の防音事業改築工事が完了したことの報告）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	認定	9月7日	
認定②	28年度六戸町一般会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定③	28年度六戸町国民健康保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定④	28年度六戸町下水道事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定⑤	28年度六戸町農業集落排水事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定⑥	28年度六戸町介護保険事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定⑦	28年度六戸町後期高齢者医療特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定⑧	28年度六戸町霊園事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
認定⑨	28年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案⑳	29年度六戸町一般会計補正予算（第2号）（1億8475万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	9月7日	
議案㉑	29年度六戸町国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）（175万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案㉒	29年度六戸町下水道事業特別会計補正予算（第1号）（396万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案㉓	29年度六戸町農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）（1億5457万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案㉔	29年度六戸町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）（3948万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案㉕	29年度六戸町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（121万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案㉖	29年度六戸町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）（474万円の増額補正）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任	9月7日	
諮問①	人権擁護委員の推薦についての意見（苫米地正良氏＝小平・柳町）再任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
同意⑰	固定資産評価審査委員の選任（田子一彦氏＝折茂、田中雅子氏＝南町（一））ともに再任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
議案④④※	財産の取得（土地の取得 1674万円）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		

※9月7日の最終本会議で追加提案された議案です。

みんな来て〜!!

地域住民との意見交換会実施します

六戸町議会では、昨年度、町で特に人口の増えている小松ヶ丘地区で地域住民や各種団体との意見を交換する機会を設け、初めて出前意見交換会を実施してきました。

今回は、町内のうち、旧柳町小学校学区、旧長谷小学校学区、上吉田地区を中心として、地域の課題を共に考え、住み良い地域づくりを目指して意見交換会を開催します。

議員と一緒に意見交換をしませんか？ 多くのご参加をお待ちしております。



- 日時 平成29年11月11日(土) 午後2時から
- 場所 上吉田公民館 (六戸町大字上吉田字前田114-2)
- 内容 各テーブルでキーワードごとに意見を出し合います。出された意見を模造紙に書き込んで記録します。
- 申し込み締め切り 10月31日(火)
- 問い合わせ先 議会事務局 ☎55-4547



小松ヶ丘地区の意見交換会の様子

議会のつぎき (29年6月~8月)

6月

(2回目)

- 2日 第2回六戸町議会定例会(〜6日)
- 6日 議会広報委員会
- 8日 *第8回六戸町長杯ゴルフ交歓大会
- 13日 総務常任委員会
- 19日 全員協議会
- 22日 *十和田地域消防安全管理協会総会
- 25日 三沢地区消防団連合観閲式
- 23日 *北奥羽開発促進協議会定例会総会
- 27日 *JAおいらせ通常総代会
- 29日 議会広報委員会
- 21日 *八戸・十和田・奥入瀬ライン整備促進期成同盟会総会
- *主要地方道十和田三沢線整備促進期成同盟会総会
- *サマーフェスティバル(〜22日)
- 28日 *上北郡町村議会議長定例会

8月

7月

- 1日 *十和田警察官友の会集いの会
- 7日 議会広報委員会
- 11日 総務常任委員会県外研修(〜12日、北海道三笠市ほか)
- 13日 産業民生常任委員会現地視察
- 19日 *県民体育大会結団式
- 20日 県下町村議員研修会
- 22日 議会広報委員会県外視察研修(〜23日、岩手県西和賀町、金ケ崎町)
- 28日 *野辺地町町制120周年記念式典
- 30日 *県民駅伝選手・役員結団式
- 31日 *秋季例大祭前夜祭
- *印は議長のみ出席

まちの将来がわかる

議会を傍聴しませんか？

次回は12月に定例会があります。詳しくはこちらまで

☞ 議会事務局 ☎55-4547(直通)



町内の老人福祉・介護保険施設を視察

産業民生常任委員会では、先に5月の産業民生の研究視察に函館にある老人福祉施設を調査し、われわれの身近にある施設との比較検討することにより、よりよい施設のあり様を勉強するため各施設を訪問しました。

現在、介護保険制度の下にこのような施設を利用している方々は年々増加しており、このような状況は永らく続くことが予想されます。しかしながら、快適な余生を送ることができなければ何の意味も価値も見出すことができないのです。

このような見地をもって視察におもむき次のような感想を持ちました。

- * 介護老人福祉施設への入所待ちが多いこと
(概ね100人ぐらい)
- * 認知症介護者が年々増えてきていること
- * 有料の老人ホーム施設が多くなっていること
- * デイサービスは、介護度の改善に向けた取り組みをはじめていること

委員会としてはこのような視察で、まだ訪問していない施設もあるので、次の機会を考えています!!

日 時：平成29年7月13日

参加者：高坂茂、円子徳通、川村重光、母良田昭、
下田敏美、長根一男
町福祉課職員

文責：産業民生常任委員会委員長 高坂茂



介護保険施設の重要性を再認識

水稻の現地調査をして

今年は、7月の後半から8月中旬のお盆明けまでの長期にわたっての天候不順に見舞われ、そのため稲作の作柄に大きく影響を及ぼして、米農家は大変な思いをしております。

本委員会では、水稻の現地視察を行い、現状を把握しながら今後の対応についての検討に資することとしました。1件目の長谷地区の赤石義周さんの稲は、見た目は順調でそんなに作柄は悪いようではないとのことでした。



現地調査で農家の生の声に耳を傾ける

2例目の折茂新田地区の新山寿さんの稲はまだ茎は青く素人目にも状況が悪いと思うほどでした。

3例目の根古橋地区の馬場定雄さんの稲は、前2件の中間に当たるような作柄状況で、いいか悪いか判断が難しい状況でありました。

結論として、上北農政県民局の担当官の話によれば、今後1週間ぐらいの天候が順調に推移すれば、十分に持ち直しができるので、すべて天候次第ですとの見解がされておりました。

町の行政も天候不順による被害対策本部を立ち上げて対応していますが、最悪の状況は免れることを期待したいものです。

日 時：平成29年9月7日

参加者：高坂茂、円子徳通、母良田昭、下田敏美、
長根一男
県上北地域県民局農林水産部普及指導室三沢
普及分室、JAおいらせ六戸支店、町産業課

文責：産業民生常任委員会委員長 高坂茂

「まわし読み新聞」を作ろう!!

8月30日、町議会議員12名、青森中央学院大生9名、若手の町職員5名、一般参加の若者3名で議会との交流会を行いました。

今回のテーマは「まわし読み新聞」を作る。グループに分かれ、東奥日報、デーリー東北の2紙をもとに、自分が興味を持った記事をピックアップ。みんなが選んだ記事の中から選りすぐりの記事をまとめた「まわし読み新聞」を作成します。完成した新聞は、みんなで見せます。

まわし読み新聞作りは、参加者の個性や価値観、多様性を認め合い、自分の世界を広げることができます。みんなそれぞれが持つ価値観を共有し、認め合うことができた交流会でした。



1 自分が気に入った記事を3点程度選ぶ



3 完成した新聞をみんなにお披露目



2 編集長を決め、新聞を作る



4 みんなで見て、自分が「いい」と思った新聞を選ぶ

岩手県西和賀町・金ケ崎町の「議会だより」に学ぶ

議会広報委員会の視察研修は、全国町村議会広報コンクールや岩手県広報コンクールで最優秀賞を受賞している金ケ崎町と西和賀町の議会だよりについて研修を行い、六戸町議会だよりをより良く、分かりやすい紙面で町民に提供するためです。

今後検討すべき課題については、以下の通りです。

両議会とも広報委員会は、常任委員会として条例化している。六戸町議会も特別委員会から常任委員会へと改革すべき時期にきていると思います。

そして六戸町議会だよりもぜひ、全国町村議会広報コンクールで賞をいただけるように頑張っていきます。

議会広報委員長 杉山茂夫

1. 発行日は、六戸町が定例会終了後40日に対し、両町は30日。
2. 定例会の他、臨時会でも速報版を発行。
3. 「議会だよりアンケート調査」を実施。(回答率7%)
4. 「紙上クイズ」で町民参加。
(スミからスミまで読んでいただく配慮)
5. 「知ってるようで知らない・議会deお勉強」シリーズ。
6. 議会広報お知らせ版の発行を町内会配布
(六戸町は銀行・銭湯等へ掲示)。
7. 特別企画として町の歴史や文化を記事にする。



議会だよりに対する熱い思いを直に感じた視察。金ケ崎町議会の伊藤雅章議長(左から3番目)から歓迎の言葉もいただいた。

町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、食生活改善
推進員会で町の健康づ
くりのお手伝いをする
成田会長にお話を伺い
ました。

成田さんおすすめの
「かえて定食」



成田 千工さん

プロフィール (なりた ちえ)
たこの台団地在住。40歳のときに六戸町へ転入。
51歳のときに食生活改善推進員(ヘルスマイト)
となり、町内の健康づくりに携わる。特に減塩
とバランスのとれた食事の普及に全力を注ぐ。
2年前から同会長となる。
趣味はコーラス。町内の文化サークル「あすな
るコーラス」にも所属し、美声を磨く。夫と二
人暮らしの76歳。



「食」の大切さに気づいた 亡父の病氣

「食」の大切さに気づいたきっかけは、父親の病氣でした。食道がんを患っていましたが、特に食事に人一倍気を遣いました。医師からは余命一年と言われましたが10年以上も生きてくれました。「食」って大事だなと痛感しました。

町の健診と一緒に 「かえて定食」を

町の複合健診で来た方々に、「かえて定食」を始め今年で8年目を迎えました。この活動が一番メインです。

自分達だけでメニューを考えて…。カロリーや塩分も見ながら、いろんな本を参考にして四苦八苦しなりました。今年の方はメニューもほぼ決まりました。

ぜひ、食べに来てください！

「食」に関する お手伝いをしています

町内の各地区で行っている「ふれあいいきいき

サロン」に行って、みんなにごはんを食べてもらうお手伝いもしています。みんなで集まって話をしながら食べます。一人暮らしだとみそ汁も面倒だつて作らない方が多いみたいですよ。

ほかに、「おやこの食育教室」をやっています。子どもからお年寄りまで、いろんな世代の方の食生活のお手伝いをしています。

健康は食事に 直結している

「食卓」は心臓の部分だと思っています。そこがちやんとしていないと、病氣につながったり、食べ過ぎても生活習慣病にもなってしまう。健康は食事に直結している、いつも思っています。

町に要望！ 調理室の改善を

就業改善センターの調理室を修繕してほしいなと思います。床も凸凹で、前に、会員の方が転んだことがあります。床だけでも直してくればありがたいなと思います。

議会に要望！ 「食生活」に興味を

以前、議員の皆さんにかえて定食の昼食会を開催しましたが、もう少し「食生活」に対して興味を持ってほしいなと思います。健康の基本は食事です。ピンクのエプロンを付けて、いろんな活動をしていきますので、町内で見かけたら、顔を出してほしいなと思います。

聞き手 杉山委員長
種市副委員長



トレードマークのピンクのエプロンとTシャツで活動している食生活改善推進員の皆さん

編集後記

8月の天候不順で心配された稲作を初めとする、農作物の生育が心配されましたが、その後の天候回復でまさかここまで持ち直すとは！8月末の時点では大方の人が、今年の不作を予言していたような気がしました。自然の底力をまざまざと見せつけられた気がします。

先日、東京からのお客様がありました。ごぼう畑を見て「大きな葉っぱの作物は何ですか」と聞かれました。私たちが何気なく暮らしている生活そのものが、立派な観光資源だと感じさせられました。

そういう自分も若いころ、パイナップルは木になっていたものとはびっくりしていたのを思い出し、苦笑いしたところです。

広報委員会では多くの研修を重ね、情報満載の議会広報をお届けします。

議会広報委員会

委員長 杉山 茂夫
副委員長 種市 正孝
委員 河野 重光
川村 豊
高坂 一男

発行責任者
議長 円子 徳通